

7/2 婦人会母親講座

目黒和加子先生をお迎えして開催



立教百八十六年七月二日（日）、教務支庁を会場に教区婦人会（鈴木佳苗教区主任）主催のもと、助産師の目黒和加子先生を講師にお迎えし、母親講座を開催しました。

目黒先生は、ようばく助産師として第一線の講演をはじめ、信仰で活躍される中、おちばでの母親講座や国々刊）や子育て応援マガジン『さんさい』（少年会本部）にも執筆されるなど、精力的に活動されています。

所々の大教会、教区で雑誌『陽気』（養徳社）や子育て応援マガジン『さんさい』（少年会本部）にも執筆されるなど、精力的に活動されています。

「目指すのは、子育て中のお母さんを中心とした母親講座です」と先生よりお聞かせいただき、教区婦人会としても、ねりあいをお母さんや女子青年層を中心に声を掛けさせてい

ただき、託児の受け入れ等も準備をしてみました。

当日は午前十時開講。鈴木佳苗教区主任より開催にあたっての挨拶に続き、目黒先生ご夫妻のほかスタッフ二名の「チーム目黒」と教区メンバー六名の総勢十名による「お産のデモンストレーション」が始まりました。妊婦役の迫真の演技に、受講者は一気に惹きつけられ、会場が響きわたるようでした。

そして本題である稿本『天理教教祖伝』にある「をびやためし」の考察と、お産の現場で先生が経験された教



第647号

発行所

天理教静岡教務支庁

〒425-0013

焼津市岡当目1番地

TEL (054) 626-1333

FAX (054) 628-4615

Email: skyou@live.jp

教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。



祖母存命のお働きについてお話し下さいました。

いくつもの危険なお産に立会い、緊迫した場面に起こる不思議に、目に見えない親神様のお働きがあることを体験として感じてこられた経験から「をびや

勢二百五十五名、託児としてお預かりした子供さんは六十名でした。「教祖をこんなに近くに感じさせてもらえるお話と、デモンストレーションの臨場感で会場の一体感がすごかった」「男性にも聞いてもらいたかった」等、多くの感想をいただきました。

受講者・スタッフ総（木船眞澄西遠支部主任）



熱心に聞き入る若い会員さん達

母親講座

参加者は255名を数えた



展示品を手に説明を受ける



託児は60人



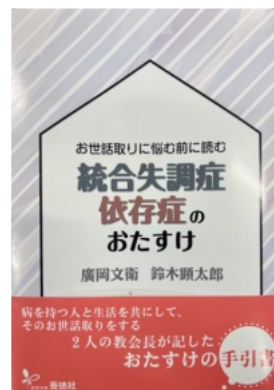
養徳社新刊書

お世話取りに悩む前に読む

「統合失調症 依存症のおたすけ」

統合失調症も依存症も、現代社会に蔓延する心の病の一つである。統合失調症の患者は約八万人。依存症は四人に一人の割合で発症し、身近な疾患とも言われている。

この病は、その人の成長過程や家庭環境に大きく影響を受けているという。本書はこれらの病の人と共に生活してお世話取りをする教会長の二人が、病む人といかに向き合い、心を通わせ、社会資源を活用してたすけの道へと導いたかを詳細に記した書。



260頁 定価1,870円込

廣岡文衛（ひろおか・ぶんえ）

昭和三十八年北海道美唄市生まれ。天理教校専修科卒業。天理教ひのきしんスクール運営委員、教会長おたすけ相談室相談員。美唄市文化連盟会長、美唄市PTA連合会長などを歴任し、現在は天理教修養科アドバイザー、美唄市社会教育委員、保護司、教誨師などをつとめる。他に北海道教区主事、教区災害救援隊長、教区少年会団長などを歴任。天理教美唄分教会長。

鈴木顕太郎（すずき・けんたろう）

昭和二十九年静岡県浜松市生まれ。天理大学文学部宗教学科卒業。天理教ひのきしんスクール運営委員、天理教三日講習会講師、天理教教会長おたすけと研修会講師などを歴任。現在は天理教「依存症たすけあいの会」代表。酒害相談室次長、教会長おたすけ相談室相談員、修養科アドバイザー。地元では保護司、教誨師、薬物乱用防止指導員、家庭裁判所調停委員などをつとめる。

天理教東濱名分教会前会長。

西遠支部定例ひのきしん

西遠支部（杉本和弘支部長）では七月九日、市宮中沢墓地にて草刈・清掃ひのきしんを実施しました。

当墓地は公営墓園ではありませんが、戦後、先人の支部教友の方々が、ひのきしんの形で造成に携わらせて頂いた所縁のある墓園で、現在も管内教会、信者家庭の多くの墓所があります。

また、隣接する火葬場や斎場会館などは、市民にとつては不可欠な施設として、折に触れてお世話になっています。

こうしたことから、毎年、お盆前の会館休業日に合わせ、支部活動として、ひのきしんを実施させて頂いています。

午前九時、遙拝の後ひのきしんを開始。朝からあいにくの小雨模様でしたが天候も回復



するとの予報どおり、幸いの曇天のもと、体調にも留意をしながら、昼前に作業を終えました。

参加者二十一名が、それぞれ日頃の感謝と、墓地を訪れる方々が気持ちよくお参りをして頂けるようにとの思いを込めて、勇んでひのきしんをさせて頂くことが出来ました。

前述のような経緯から、長年に亘って続いていたこの墓園でのひのきしんを、先人先輩方の御恩も語り継ぎながら、今後も続けていきたいと思っています。（山口西遠支部社友）

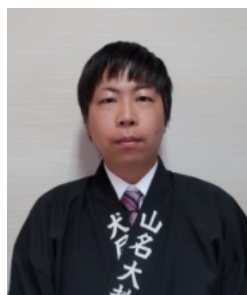
新任・教会長に就任して

北遠支部

山名大教会部属

犬居分教会八代会長

酒井陽一郎



立教百八十六年五月二十六日に犬居分教会八代会長の理のお許しを頂き、六月十八日、無事に奉告祭を執り行わせていただきました。

教区長先生、また教区に携わる先輩の皆様方には今後ともお世話をお掛けいたしますがどうぞよろしくお願いいたします。

私が教会長を拝命して最初に考えたことは「皆がもつと寄り集いやすい教会へ」ということです。

現在、参拝に来て下さる信者さんや、月次祭や霊祭にも来て下さる方もいらつしやいま

すし、地域を回ると「また教会へ行かせていただくね」と声を掛けて下さる方もいます。前会長夫妻をはじめ犬居分教会に今までつながらる方々が日々一生懸命につとめて下さったおかげで、今の教会の姿があると思います。その積み重ねたものを大切にし、更にこの教会がより、おたすけの場となるにはと考えたときに、ふと思いついたことが、皆がもつと寄り集いやすい教会へという事でした。

では、その為には何から始めたらいいかと考えたとき、まず教会とはどのような事をしているのか、どのような事を目標にして信仰をしているのかを分かつたりやすく伝えていくことが必要だと考えました。会長となつて二カ月ほどでまだまだ勉強不足な私ですが、まずは地道に足を使つて行動をさせていただく事が大切だと思いました。

現在、インターネットも普及しオンライン上でのやり取りも盛んに行われています。私たちもSNSを利用して色々と呼びかけをします。

しかし、私の住む地域では年配の方が多く、SNSを利用していない人たちがいらつしやいますので、戸別訪問に行かせていただくこうと考えています。さらに積極的に地域の活動への参加や、必要として下さる方への協力を積極的にすることです。

ながりを作ることにより、より信仰の事や教会の様子や活動を様々な方へ伝えやすい環境作りに取り組ませていただくこうと考えています。犬居分教会という教会がこの地にでき、ここに教会がある意味合いを考えるときに、やはりこの場所に根ざし、どなたからも頼られる教会にならせていただきたいと思います。

また、教会をお預かりしている者として、教会につながる下さっている信者さん方には、教会に來られた時や自宅へ伺わせていただいたときに喜んでもらえるようつとめる事が、一番大切な事と考えています。年祭活動三年千日の真つ只中に教会長となり、教祖のひながたを思うとき、原点に立ちかえつて人に喜んでもらうという事を第一につとめさせていただきます。

そして、教会につながる一人ひとりが誰かのたすかりを願えるよう、私自身もつとめ、伝えていけるよう励ませていただきたいと思います。教会につながる皆さんのための教会であるという事を自覚し、教会に関わる皆さんと意見をたくさん交わし、犬居分教会をより良い姿にしていきたいと考えます。



若者と信仰

次世代に信仰を引き継いでいくために



講演

島田勝巳氏 | 天理大学副学長

「現代の社会と若者の宗教意識」

パネルディスカッション

「若者の丹精の手がかりを探る」

清水 慶政氏 天理教学生担当委員会委員長
兵神大教会長
長谷 幹男氏 天理高校副校長
前天理学寮北寮ふしん寮寮長
杉田 由紀子氏 本理仁分教会前会長夫人
布教の家埼玉寮副寮長
司会 深谷 耕治 天理大学講師
ひのきしんスクール運営委員

ハネリスト 随不問

立教186年(令和5年)
9月25日[月]
→10月31日[火]

申し込み締め切り=9月20日[水]

※無料で視聴できますが、事前申し込みが必要です

●申し込み方法=ホームページの申し込みフォーム
に必要事項を記入のうえ、送信してください。

〈今回はオンライン配信のみの開催です。申し込みくださった方には、9月22日(金)に「視聴用アドレス」をお知らせします。視聴するには、事前にYouTubeが視聴できるように準備してください。〉

<https://fukyo.tenrikyo.or.jp/>

天理教布教部

検索



QRコード

■お問い合わせ先
ひのきしんスクール事務局
(布教部社会福祉課内)
〒632-8501 天理市三島町 1-1
Tel 0743-63-2314